

2022年度も目土会実施します！



Good Player declaration

ゴルフ全盛期はキャディ付のラウンドがほとんどでしたので、キャディさんがフェアウェイを縦断しながら目土を実施していました。しかし米原ゴルフ倶楽部をはじめ、セルフプレーが主流となってきている昨今、ゴルフ場ではこの目土作業に相当の労力がかかってしまっているのが現状です。そこで研修会メンバーをはじめとし、目土の会を発足させて、目土袋携帯でのラウンドを実施するために毎月第2週の日曜日に「目土会」を開催しています。

そもそも・・・なぜディボット跡を埋めることが必要なのでしょうか？

最大の理由はゴルフコースの保護になります。ターフやダフった跡は地面がめくれ上がってしまい、そこから枯れていってしまいます。それを放っておくと、ジェネラルエリアがでこぼこになってしまいセカンドやサードショットが難しくなります。せっかくティーショットが上手く打ててもディボット後にボールが入ってしまうと、台無しになります。

プライベートラウンドでも目土袋持参でのラウンドにご協力ください。

参加希望の方はロビー中央部にあります、月例会等の申込受付に申込表がございますので、フルネームを記入して申込を行ってください。

